

(1) 「イノベーション・コモンズ」の意義について

- 「教育」「研究」「社会貢献」などの本来的な大学の役割や、SDGsの達成、Society5.0の実現、地方創生、国土強靱化等の社会的要請を踏まえ、「イノベーション・コモンズ」の意義をどのように考えるか。
- 「イノベーション・コモンズ」は、地域・社会において、どのような役割を果たすのか

(2) 「イノベーション・コモンズ」の考え方について

- どのような「共創」が行われるのか
- 共創活動が行われる「場」はどのようなものか

(3) 「イノベーション・コモンズ」の実現に向けた取組の要点について

- 大学・産業界・地域は、それぞれどのような役割を果たすべきか
- 大学等の「イノベーション・コモンズ」への転換のためには、何を変え、強化すべきか
- 特にDXの加速化を踏まえ、「イノベーションコモンズ」においてはどのような教育研究環境や空間が整備されるべきか。

イノベーション・コモンズの実現に向けた検討の論点について②

(3) 「イノベーション・コモンズ」の実現に向けた取組の要点について

- 自治体や産業界、他の国公私立大学等の多様な関係者とどのような連携が必要か
- 社会・地域の発展のために、「イノベーション・コモンズ」をどのように活用するか
- 学内に留まらず、学外施設の活用をどのように図っていくか。
- 大学等による貢献の可視化、社会との信頼構築、持続的な共創に、どのような仕組みが必要か
- キャンパス・施設の整備にあたっての、企画・計画段階での検討やその体制・プロセスに、どのように多様な関係者を巻き込んでいくのか

(4) 国の支援策、大学・地域・産業界等への期待

- 国の支援策としてどのような取組が考えられるか
- 大学・地域・産業界等が取り組むべきことは何か